

ニュース

【日本合気道普及連盟 2016年夏季合宿交流会】

日時：2016年8月27日(土)~28日(日)

場所：連盟本部道場(熊本県阿蘇市)

内容：村里さんの投稿をご覧ください



会員投稿 投稿者：村里さん

合宿稽古に参加して

8月27日(土)、28日(日)に恒例の日本合気道普及連盟の夏季合宿交流会に参加しましたので概要を報告し、合わせて感想を述べたいと思います。

北星館からは、浜田館長、大平さん、森脇さん夫婦、笠井さん、浜田盛道君、市川さん、松尾さん、村里、それに運転をして頂いた元会員の田中さんの10人参加です。

稽古は9名の参加でしたので、車3台で行くよりもマイクロバスを借りて、元会員の田中さんに運転をお願いして行くことになりました。

27日朝8時15分に岩屋中に全員集合して出発しました。

震災の影響で通常の道が通れずミルクロード経由になるということでしたが、それならばいっそう大分道で行って南下しようということになりました。

途中、大分道の山田パーキングで休憩し、日田で降りるのを間違って九重インターで降りるというハプニングもありましたが風光明媚な大観望を右手に見て1時過ぎに無事阿蘇の本部道場に着きました。

やはり、マイクロバスでみんなと一緒に行くのは楽しく、道中はさながら修学旅行状態で盛り上がりました。

合宿稽古は27日、3コマ、28日、1コマ行われるということで、どうにか1コマ目に間に合いました。

今回は9道場の参加で55名の参加でした。その中で北星館は田中さんも含め10名の参加で、木村先生の育翔館に続いての人数の多さでした。普及連盟の中でも北星館の存在がだいぶ大きくなってきたかなと思いました。

稽古は1コマ目が木村先生の準備運動から基本の呼吸力を中心にした内容のある素晴らしい稽古でした。

2コマ目は、親徳館の本田先生の動きがあるダイナミックなこれも素晴らしい稽古でした。

3コマ目は豊心館の豊田先生の、呼吸力を詳しく解説した稽古でした。

(2コマ目でたいがい疲れていたの、呼吸力で良かったです(汗))

その後、昨年も泊った内の牧の角萬に移動してお風呂、宴会です。

ところが、ここで大誤算！

なんと、震災の影響で大浴場が使えないということでしょうがなく少人数でいくつかある家族風呂で汗を流しました。しかし、この風呂が源泉かけ流しで温度調節してないので、やたら熱く罰ゲームじゃないかと持ちきりでした。私は熱い風呂が好きで慣れているのでなんでもなかったですが、たいていの方は熱くて入ったらすぐ出ていたようです。

角萬の建物自体も傾いて草は生え放題、ガラスが割れ手つかずのところもあり、まだ復興途中なんだなと思いました。しかし、少々不便でも我々が利用することで熊本の復興に少しでも寄与できるのであれば、積極的に利用しなければとも思いました。

聞けば内の牧のホテルはまだ半分が温泉が止まった状態だそうです。

風呂はあまりよくなかったですが、宴会は弾みました。

食事もおいしく頂き、久しぶりに他の道場の方と歓談し非常に楽しかったです。

二次会は、木村先生、本田先生、浜田館長、私の4人部屋にみんな集まり盛り上がりました。元北星館の西脇君も立派な青年になっており、高校生の時から見てきた我々には息子が大きくなったようで嬉しかったです。

木村先生は2次会をしたことすら覚えておらず、朝から一升ビンが3本もあるのを見て、どがんしたとや？と言っていました(汗)

朝はホテルを9時30分に出て10時から1コマ稽古でした。

今日は、昨日あまり飲まれていない？双平館の衛藤先生の指導でした。

衛藤先生は、自分自身が呼吸力があまり分からないと言われ、体の変換や捌きで相手を制する技術を求めておられて、これはまた非常に興味深いものでした。

そのあと、今度は九重ではなく日田ICからまた大分道を通って帰ってきました。  
今までこのルートは考えもしなかったですが、景色も良く、今からはこっちも良いねと盛り上がりました。  
途中、山田のサービスエリアで学童部の久松和音さん親子とも偶然会遇しびっくりしました。  
帰りは若干疲れてみなさん夢心地の中で無事、岩屋中に帰ってきました。

運転をしていただいた、田中さん、浜田館長、どうもお疲れさまでした。

今回の合宿を通じて私が感じたことは、木村先生、陽聖館の野口先生の呼吸力のすさまじさ！私がどれだけ力を入れてがんばっても、ポンと飛ばされます。やはり呼吸力は魅力があり、一生かけて追いつけるものだと思います。

それと同時に、合気道の技は止まってはかけられない。動きながら、相手を崩しながらかけるものだという  
ことを改めて感じました。

皆さんも経験あると思いますが、相手が突いてきたのを小手返ししようとしても  
相手が踏ん張り我慢するとなかなかかけきれないと思います。これは相手の体(たい)が安定しているから、  
拳をひねられないように我慢が出来るのです。

ですから、小手返しをかけようとするすると相手を誘うなり、導くなり。拳を落とすなり、拳を引くなりしてま  
ず相手の体を崩さないといけません。体が崩れていたら拳をひねられるのにも我慢ができません。

簡単なことですが、今更ながら改めて気付きました。

これは表現は違いますが、本田先生、豊田先生、衛藤先生も同じようなことをおっしゃり、技をかけていま  
したので、やはりそうかと確信した次第です。

それと、北星館のレベルの高さも感じました。

他の道場の先生方は確かに達人ぞろいですが、そのこの門人の方がたは失礼ですが、そこまで強くはありませ  
ん。我々の道場の方が総じてレベルが高いです。

宴会の席でも、他の道場の方から、北星館はみなさん強いという言葉を聞きました。

ですから、合宿や交流研修会で他の道場の先生の指導で合気道に対する視野を大きくして、実際の稽古は浜  
田館長の指導に迷わず付いていけば大丈夫です。

取り留めもない話で恐縮ですが、非常に楽しい合宿ですので、今回参加できなかった方もぜひ来年は参加お  
願いいたします。

以上

#### 編集後記

会員投稿については、一般会員、学童部保護者会にも声をかけております。

合気道の話題にこだわることはありません。趣味の話でも結構ですので投稿してください。

気長に待ってますので、皆さん、ご協力の程、よろしく申し上げます。